

むつ市立むつ中学校2学年の生徒が「職場体験学習」でむつ高等技術専門校へ

令和3年10月26日(火)から10月27日(水)の2日間、総合的な学習の一環として実施される職場体験学習でむつ市立むつ中学校の2年生1名が当校の木造建築科で「ものづくり」や「木材加工」をとおして建築大工の仕事を経験しました。



【職場体験学習の主旨】 (むつ市立むつ中学校より)

- ・一人一人が自分のテーマを持って職場体験を行うことで、将来の職業や進路選択、自己のよりよい生き方について考える機会とする。
- ・職場体験を通して挨拶などの社会的マナーや礼儀の大切さを知り、望ましい勤労観や職業観を養う。
- ・職場体験を受け入れてくださる方々や地域に支えられていることに感謝の気持ちを持つ。

職場体験学習の1日目は自己紹介から始まり、安全作業上の注意、使用工具の点検等について説明が行われました。はじめは緊張していたようですが、使用する工具や材料の説明を真剣な眼差しで聞き、かんな掛けをはじめノコ挽き、部材への墨打ちなどの体験をしていただき

ました。1日目の午後に実施した工作教室では、真剣に作り方の説明を聞きながら一生懸命ティッシュケースを作る様子が見えました。



2日目は校内の実習場で工作機械の電気角のみを使い、部材加工をしていただきました。その後、東通村上田代の小屋の建設現場に移動してコンクリート基礎に設置する土台敷をするため、部材の運搬と土台部材にアンカーボルトを通す穴の加工を訓練生と一緒に体験し、実際に基礎上端に土台を設置しました。初めて体験する作業が多くありましたが、「ものづくり」本来の厳しさや楽しさを感じていただけたと思います。

2日間という短い期間でしたが、人との関わり方、働くことの意義や喜び、あいさつや言葉遣い等の社会人としてのマナーについて学ぶことができたと思います。このような職場体験学習が自分を見つめるきっかけとなり、学習意欲の向上や今後の進路選択に向けて真剣に考えたり、自分の課題に取り組んだりできる力につながっていくと思います。何年後かに自分が働くようになったとき、職場体験学習での気持ちを思い出して頑張ってくださいね！